

発電所からのお知らせ

2018年3月13日

■ 1, 2号機: 廃止措置中(第2段階)(2016年2月3日～)

「[浜岡原子力発電所 1, 2号機 廃止措置状況\(2017年度第3四半期\)](#)」を更新いたしましたので、ご覧下さい。

第2段階の進捗状況※1

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
廃止措置計画			▼変更認可(2月3日)※2 → 第2段階に移行						
汚染状況の調査・検討		1号機			1号機		2号機		
			▼1号機サンプル採取終了						
系統除染					1号機	2号機			
設備・機器の 解体撤去	放射線管理 区域内	1号機	▼工事着手(2月15日)※2	2号機					
		2号機	▼工事着手(2月15日)※2						
	排気筒				解体準備工事		解体工事		
	放射線管理 区域外								
希ガスホールドアップ装置建 家の解体									

※1 本計画については、工事の実施状況、検討・評価状況等により変更となる可能性があります。

※2 2016年2月3日に、廃止措置計画の変更の認可を受けました。これにより、放射線管理区域内のうち原子炉領域周辺設備の解体工事を開始しました。

2017年第3四半期における廃止措置に係る主な進捗は、以下のとおりです。

【汚染状況の調査・検討について】

- ・2017年12月に1号機原子炉圧力容器内および原子炉格納容器内のサンプル分析を終了し、現在、汚染状況の評価を実施しています。2号機原子炉圧力容器内および原子炉格納容器内については、2017年度第4四半期にサンプル採取を開始する予定です。

【放射線管理区域内設備の解体撤去工事の状況について】

- ・浜岡2号機原子炉建家1階設備のうち、自動減圧系(※3)の解体撤去を2017年10月から着手し、11月に完了しました。
- ・浜岡1号機タービン建家3階設備のうち、主発電機および付属設備の解体撤去工事に2017年11月から着手しました。
- ・浜岡2号機タービン建家3階設備のうち、ダイヤフラム(※4)の解体撤去工事に2017年11月から着手しました。

【排気筒解体撤去工事の状況について】

- ・浜岡1,2号機の共用排気筒解体撤去工事のうち、解体準備として、排気ダクトの改造(新排気口の設置)に2017年10月から着手しました。

【放射線管理区域外設備の解体撤去工事の状況について】

- ・浜岡1,2号機の重油タンクおよび付属設備の解体撤去工事に2017年11月から着手しました。

※3 自動減圧系とは、原子炉の水位が異常に低下した場合において、万一、高圧注水系が起動に失敗した際に、原子炉の圧力を下げ、低圧の非常用炉心冷却系による原子炉への注水を促進するための設備です。

※4 タービン内部の蒸気の流れを整えるための翼を構成する部品の一部です。

- 3号機: 施設定期検査中(2010年11月29日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
- 4号機: 施設定期検査中(2012年1月25日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
- 5号機: 施設定期検査中(2012年3月22日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。

以上